常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 営業部専用1210 編集部 1269

呉服 服地 御婚礼 京呉服 ふとん 豊富取揃え
佐川呉服店 平市五丁目 電1486

乱戦まぬかれぬ市長選
矢吹、松本、磯野、日野氏が供託

常磐市長選はいよいよ二十四日告示されるが、出馬の意志を明かにして、保守系、矢吹壮司、松本久吉氏は八日、革新系、磯野清治氏は九日午前中、日野利春氏の九日午後一時を最後にそれぞれ供託を済ませ、かねての予想通り四つ巴の乱戦は確定的となり激しい選挙戦を繰り展げている。

しんがりに供託を済ませた日野氏で四人の候補は一応出馬の態度をがつちり打ち出しそれぞれしのぎを削る猛運動を展開しているが、これでいままで懸案だつた保守、革新の一騎打ちは望みうすとなり各候補とも最終段階を迎えてさらにつばせり合いは猛烈になつた。

現在四候補とも地盤争いに大童で各地区で部落こん談会を開き選挙布石を打つているが、なんといつても総有権者票二万一千票のうち当落のカギを握る炭砿関係の票一万八千の動きが問題となる。このため労組パツクという大世帯をもつ磯野氏を先頭に各候補とも炭砿票の獲得に頭を痛めている。

一方農村票は現市長矢吹氏ががつちりおさえているといわれているが、松本氏の出足もよいまた市街部の六千二百票は矢吹氏と松本氏、また専門店会理事という肩書をもつ日野氏の票もあなどれないが、まず街と農村の票は矢吹、松本氏が大半おさえるものと予想され、運命の別れ目となる炭砿票の獲得が一段と激しくなつた。

このため四候補ともこの票をめぐつて事実上の選挙に入り磯野氏は二十日ごろまでには社会党の大物を招き応援演説会を開く計画をたてている。一方保守系にも近く自民党の幹部も来磐する予定といわれている。

格斗の末スリ捕う
眞船公安官のお手柄

殴る蹴るの暴行をうけながらも自分の職務を遂行、スリ現行犯人を逮捕するという責任感の強い鉄道公安官がいる。

平鉄道公安室眞船清蔵公安官が十日午後一時五十五分ころ常磐線上り二二八列車に警乗して車内を巡視、列車が内郷駅を発車して間もなく前部より三輛目の車内で乗客の富山県婦負郡和合町字荒尾家庭薬配置業井城清さん(五七)のズボン右ポケツトから財布をスリ取ろうとした内郷市内町字金坂露天商木村輝雄(三三)を発見、スリ現行犯で逮捕しようとした際、後方にいた木村の相棒である内郷市綴町字堀坂松田房男(三四)が眞船公安官におどりかかつて顔面を殴打、更に木村と共謀して殴る蹴るの暴行を働いたが、眞船公安官はこれにひるまず約十分間にわたつて乱斗を続けているところに同乗していた矢口金英公安官が急を聞いて駈け付けて湯本駅付近でこの両名を窃盗及び公務執行妨害現行犯で逮捕、身柄を常磐署に引渡した。

このため眞船公安官は顔面、右耳などに全治二週間の打撲裂傷を負つた。（写真は眞船公安官）

季節労務者を大量募る

働き者と定評がついている石城地方の農業労務者に今年もまた埼玉、群馬、栃木県などから百七十五名の農業季節労務者の求人便りが平職安に舞込んだ。働くところは各県下の農家で期間は五月下旬から七月上旬ころまでで年令は男女とも四十五才以下、賃金は三食付男三百三十円、女三百十円のほか往復の旅費支給という好条件であるが希望者は早目に平職安に申込むよう同所では望んでいる。なお出発は五月下旬となつている。

湯本駅拡張計画
常磐で国鉄と話し合い

常磐炭砿では東西開発計画と銘打ち、磐崎、鹿島両鉱を重点的に採炭を行うことになり、三十四年度には両鉱の月産を十六万トンに引上げることになつているが、これらの黒ダイヤ輸送のため湯本駅の拡張が必要となるので国鉄当局とその対策について話合いを進めている。

現在の出炭量は月産磐崎鉱二万五千トン、鹿島鉱三万トンで、これらの黒ダイヤは湯本鉱の出炭をも含め、一日二百十六両の貨車によつて京浜地区に運ばれているが、三十四年度には内郷鉱閉鎖の補いとして両鉱の三倍採炭を行うことになつたもので、貨車も五百車両余を毎日使用することになり、現在の駅構内面積四百万ヘーベーでは狭くなつたものである。とくに問題なのは構内が線路の東側にあり磐崎鉱の石炭に線路を横断して構内に運び入れていること、現在線路の横断回数は一日三回だが、近い将来常磐線の電化にともなつて列車の往来はひんぱんとなり、この専用線による横断は難かしくなつている。

このため炭砿では経費のかからない現在同様の線路横断を望んでいるが、不可能の場合、線路下に抗道を切り開いて専用線を構内に入れる、あるいはケーブルを使つて石炭を運ぶかのどちらかの必要に迫られている。これが解決しなければ西の磐崎鉱東の鹿島鉱開発を行つても輸送難に直面するわけで同炭砿として真剣に国鉄当局と折衝を続けている。なお同駅は西側は市街地、東側は湯本川にはさまれて敷地に乏しく、頭痛の種となつている。

失保受給ぐんと減る

神武以来といわれる好景気がグンとはねかえつて平職安管内の三月末失業保険金の支給額は五百三十万四千八百二十五円（人員七百九十七名）となつた。また一方職を求める人達も七百九十一名となつたこれを不況のドン底時代といわれた一昨年の七月の千五八十五万四円千円（二千六百九十五名）と比べ全額で三分の一、人数では約五分の二に減つた。また月平約職をさがすため職安の門をくぐつた人達も当時の千六百十四名と比べいずれも凡そ三分の一となつている今後の見通しについては一月、炭砿関係では四月になると例年失業の増加した傾向が現在のところこの傾向がないので当分は横バイ状態が続くものと見られている。

住宅建設の資金
平市建築課で斡せん

平市建築課では三十二年度一般個人の住宅建設資金貸付の斡旋を去る四日から十七日まで行つている希望者は福島相互銀行平支店に申込むことになつている。限度額や申込みの区分は次の通り。

◆申込みの区分◇二十七年度第一回から三十一年度迄に三回以上申込んだもの◇住宅部分のうち十二坪以下の床面積につき融資を希望するもの◇住宅部分のうち十二坪から十五坪以下の床面積につき融資を希望するもの◇簡易耐火構造の住宅又は耐火構造住宅予定所、住宅部分のうち十五坪から二坪以下の床面積につき融資を希望するもの

◆限度額◇住宅＝標準建設費の坪当り価額に融資希望坪数を乗じた額の七割五分相当額◇土地＝土地の標準坪当り価額に土地の融資希望坪数を乗じた額の七割五分相当額。

割烹 開花 田町 電一三九

ヤミ米63俵を押収

平署は平鉄道公安室の協力で十一日午前零時五十五分平着常磐線上り二二二列車の主食取締りを行い無主物米百二十六個、約六十三俵を押収した。

平市でボヤ

十日午後九時二十分ごろ平市ネギ町元築原製菓工場わきのゴミ箱附近から出火したが大事に至らず消し止めた。平署で原因を調査しているが通行人が捨てた煙草の吸殻がゴミ箱の紙に燃え移つたものらしい。

平専門店の招待売出し

平専門店会では春のまるせんサービスとして四月十日から五月十二日迄〝東京名人大会〟への御招待売出しを行つている、これは百円買上げごとに補助券一枚千五百円で招待券一枚を進呈するもので、招待日は五月十九日平市公会堂で行う。

八茎分校に雑巾贈る
山野辺さん

十日午前九時ころ四倉町教育委員会室に同町本町建築業山野辺誠氏＝町議員＝が訪づれ、四倉町大野小校八茎分校＝全校生徒十二名＝に雑巾をと約二十枚を寄贈して同会から感謝されている。

大谷石 井上 平五電66

不都合解雇のお知らせ

本社常磐支局員岡部富彌は社意に反した行為を行つているほか、金銭的な面でも清算をおくらせ初期の契約を不履行しているので本月十一日付を以つて不都合解雇に処しました。以後本社とは無関係でありますので御了承下さい。

常磐毎日新聞社

一等当選御禮

四月十日行われた平市商店会連合会主催広告カーニバルに見事一等を獲得致しました。これ偏に皆様の御支援の賜と深く感謝いたします

今後共皆様の三丁目として一層のお引立の程お願い申上げます

昭和三十二年四月十一日

平市三丁目商店会

平医師会第八次定時総会開催の件

左記により定時総会を開きますから御出席下さい。
尚出席不能の方は委任状を御出し下さい。

記

一、日時　昭和三十二年四月十五日(月)午後三時
一、場所　平医師会館
一、議案　①昭和三十一年度才入才出決算の件　②昭和三十二年度才入才出予算の件
一、協議　その他

昭和三十二年四月十一日

社団法人 平医師会
会長 鈴木正男

平医師會員殿

二等（一席）当選御礼

四月十日行われた平市商店会主催広告カーニバルに見事二等一席を獲得致しました。これ偏に皆様の御支援の賜と深く感謝いたします

お買物は是非 新川町商店会へ
今後共よろしく御引立の程をお願い申上げます

昭和三十二年四月十一日

平市新川町商店会
会長 松崎四郎

二等（二席）当選御禮

四月十日行われた平市商店会連合会主催広告カーニバルに見事二等二席を獲得致しました。これ偏に皆様の絶大なる御支援の賜と深く感謝いたします

お買物は 二丁目商店会へ
今後共よろしく御願い申上げます

昭和三十二年四月十一日

平市二丁目商店会

12日より15日まで
☆いねむり一家
☆日本の真珠
☆ニュース・マンガ
「平の桜祭カーニバル
ニュース近日封切」
平文化ニュース

笛の詩 41

絵と文　谷田部風太郎

笛の章 10

船に乗つている啓介と栄子と志村の耳に、船長の大きな笑い声が、つつ抜けに聞えて来た。

「おい志村。もう準備は出来たんだろう。」

船べりに腰かけて煙草をふかしている志村に、啓介は声をかけた。

「オーケーだ。」

「じやあ、もう走らせろよ。見送りが迷惑する。」

「まて、もう一人来るんだ。」

「もう一人？……。」

志村は、ひよつと啓介の腕をつかんで腕時計をのぞいた。

「もう来る。もう少しだ。がまんしろ。」

「誰が来るんだ？……。」

「来ればわかる。ほうら、来た。」

波止場の向うから、手を振りながら走つて来たのは、まぎれもない、女給の利子だつた。

「早く来いよオ。おいて行クゾウ。」

志村は、そう叫んで吸いさしの煙草を海草の浮いている海へ捨てた。

シユンとはかない音を立てて、見る〳〵白い巻紙が黄色に染つていつた。

「落ません。おそくなつて…。」

利子はぺこりと頭を下げて、ゆれる船へぽんと飛び移つた。

「船長。又、一人乗つたぞ。ありや誰じや。」

波止場で見送つていた仁平治が船長にさゝやいた。

「何と云つても、若いうちは良いのう。おう出かけよつたぞ。」

ポンポンポンと、丸い煙筒から白い煙の輪を吹き出し、船がすべり出した。

「気を付けて行けよう！。」

船長がどなつた。そして二人の老人は一様に手を振つた。船から何か叫んでいる素振りだが二人の老人にはわからなかつた。

船長と仁平治は、船がずうつと向うのウトロ岬を廻つてかくれてしまうまで、眼を細くして眺めていた。

「はつはつはつは。」

船が見えなくなると、船長は亦大声で笑つた。自分の若かつた頃の事を思い出していたのである。

四人の乗つた小さな発動機船は広いオホーツクの沖に出た。

「なかなかあざやかだな。これで安心だ。」

啓介は、右手で梶を取り、左手で発動機の調節をしている志村を見ながらいつた。

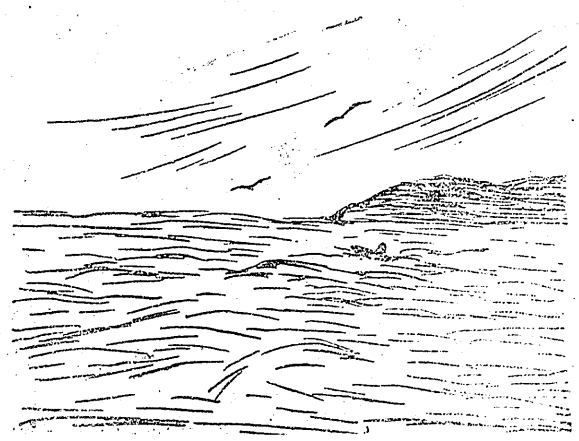
「俺は、一生に一度で良いからこんな具合に船を動かして見たいと思つていたんだ。」

「のぞみがかなつたわけだな」

「そうだ。」

船は波打ぎわから百五十米位の距離を取つてぐんぐん走つた。この附近一体は、切立つた水成岩が長々と続いて、それが陸と海との境を作つている。登る事も降りる事も出来得ない。そんな断崖の上から、ときどき白糸の様な滝が、海の中にたれさがつていた。

（つづく）



菜切り包丁で刺し
時計、帽子など奪う

勿来署では九日午後十時ころ磐城市下川字中宿一八七トビ職江尻政男(三三)を強盗傷人現行犯で逮捕した。　同夜九時ころ勿来市植田町番所下一八飲食店橋本屋こと鷲美枝子さん(三九)方で飲んでいた土工五人とささいなことでけんかし、殴られた江尻は近所の飲食店昭和屋こと渡辺セツ子さん(三〇)方からリンゴをむくからといつわつて刃渡り約二十センチの菜切り包丁を持出した。そして江尻はその足で仕返ししようと橋本屋に引返して客の一人である同市植田佐糠町大島二〇製管工高橋秀雄さん(三三)をけんか相手の土工と感違いして左腹などに全治二週間の切創を負わせたうえ、スイス製腕時計一個三千円相当と鳥打ち帽子を奪つたもので、常磐線植田駅から逃げようとして捕まつたものである。

内郷でダニ狩り
5人逮捕15名取調べ

内郷署では花見と十四日からの常磐炭砿山神祭を控え十日午前五時半を期し暴行傷害、住居侵入及び窃盗などの疑いで同市白水町広畑町田無職竹沢直記(三二)同市金坂町三本杉採炭夫菅野政夫(三三)同市白水町川平運搬夫上遠野政一(三二)同宮町峯根土工大谷秋男(三八)の六名を逮捕、また十五名の任意出頭を求めて取調べている。

調べによると矢土目と伊藤は共謀、去る一月八日と二十四日、三月七日の三回にわたり同市白水町広畑土工高橋二之助さん(三七)方に借金を催促されたのをうらんで暴れ込み、高橋さんおよび同人の妻アサさん(三〇)の両名に対し殴る、けるの暴行を働き両名の胸、頭などにおのおの全治二週間の傷を与えるなど理由もないのに善良な市民にいんねんをつけて殴る、けるの暴行を働いていたもの。

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

六、〇〇	子供の時間
六、三五	スポーツ便り
六、四〇	一丁目一番地
六、四五	川柳コント
七、一五	録音ニユース
七、三〇	即興劇場
八、〇〇	民謡をどうぞ
八、三〇	天晴れ風来坊
九、〇五	ニユース解説
九、一五	連続浪曲
九、三〇	話の泉
一〇、一五	時の動き

◆ラジオ福島

六、〇五	トニーの童話
六、一五	赤胴鈴之助
六、四〇	永遠に答えず
六、五五	スポーツニユース
七、一五	歌うダイハツ三輪車
七、三〇	歌のトランプ
八、〇〇	民謡うたの旅
八、三〇	サロンパスの浪曲
九、〇〇	平凡アワー
九、三〇	甚兵衛アワー
一〇、〇五	名作アルバム
一〇、一〇	夜の案内
一〇、二五	夜の調べ
一〇、五〇	右門捕物帳
一一、〇五	時事解説

今晩の映画

▼東映劇場　十六日マデ

七、一五	深夜の死美人
八、三九	鳳城の花嫁

▼世界館　十六日マデ

七、〇七	体当り殺人狂時代
八、三四	朱雀門

▼平館　十六日マデ

六、五五	フランキーの宇宙人
八、五五	ジヤズ娘誕生

▼民劇　十六日マデ

六、三〇	美貌の都
八、一七	雨情

▼ひかり座　十七日マデ

六、一〇	羊をまもる犬
	鹿皮服の男
	スイス
八、三〇	わんわん物語

▼聚楽館　十五日マデ

六、四〇	白鯨
九、〇〇	襲われた幌馬車

お祭やお花見には……
御手軽でおいしい
惣菜とハムソーセージ

ハム類	百匁	一八〇円より
コロツケ	一ケ	一〇円
メンチカツ	一ケ	一五円
野菜サラダ	百匁	六〇円
トンカツ	一枚	四〇円―六〇円

平市銀座通り　電二七一
マルサ

急告
今般ガソリン並に経油引取税の増税に依り左の如く価格改正致します

	価格	税金	販売価格
ガソリン	二五円〇〇	一八円三〇	四三円三〇
高オクタン	三〇、〇〇	一八、三〇	四八、三〇
価ガソリン	二四、〇〇	八、〇〇	三二、〇〇
経油			五〇、〇〇
混合油			

昭和三十二年四月十一日

KK関内商店
KK関彰商店平支店
KK大丸
KK百沢商店
KK佐藤利商店
柏屋商店
常磐菱油株式会社
KK亀井商店平出張所

泡食いねえドイツの生れよ
越藤
ドイツの最高権威を招いて造つたアサヒの特製ビールが平地方では昨日から新発売。これを迎え撃つキリンサツポロノビール界は泡立つています
○アサヒ特製ビール　一二五円
○〃食堂では　一三〇円
○キリン、サツポロ　〃
金曜サービス缶詰三ケ九〇円
越藤　小名浜平市

平さくら祭り協讃
第一回 靴まつり
4月13日―4月17日
於 平市公会堂

参加店
百万人の靴メーカー
ちよだ靴
◉各種豊富取揃えました
スガタ
平市二丁目　電二〇五九

参加店
春のトツプ……
モード……
新しい型……
豊富取揃えました
菊一
平市三丁目　電446

参加店
創業明治35年の
古き信用と技術の店
深谷靴店
平市中央通り　電一一六八

参加店
春は足もとから……
新しい型
好みの色
……各種豊富取揃え……
大塚
平市三十米大通り　電77